

田川市石炭・歴史博物館のご案内

(令和元年度・上半期)



今年度の山本作兵衛コレクション原画企画展

「運べ石炭！燃やせ黒ダイヤ！」

春季企画展「川の流れとともに」

今年度の企画展は「石炭の運搬・輸送」をテーマとし、前編と後編に分けて開催します。

黒ダイヤと呼ばれた石炭。石炭はどのように運ばれていくのか？
春季企画展は前編として、川ひらたの輸送に焦点をあてた企画展です。鉄道をテーマにした後編は、秋の企画展で！

主催◆田川市石炭・歴史博物館

期間◆平成31年4月23日(火)～令和元年5月19日(日)

※会期中の休館日：5月7日(火)・5月13日(月)

会場◆田川市石炭・歴史博物館 第2展示室ほか



関連イベント

●コールマインチャレンジ！石炭を燃やそう！

実際に石炭を燃やして、二オイをかいでみたり、燃える様子を観察してみよう！

日時：令和元年5月5日(日)13:30～

会場：田川市石炭・歴史博物館
産業ふれあい館前

対象：主に小中学生ですが、
どなたでも参加できます

参加費：無料(入館料は必要です)



撮影：2018年5月5日▶



ロビー展示

●学芸員によるミニ企画

1階ロビーにて開催中

※2カ月に1回のペースで更新します。



フログも見てね☆



◆博物館スタッフのおすすめ◆ Vol.2

水もなく、風も吹かない博物館の展示室で、風を受けた木造の帆かけ舟があることをみなさんはご存じでしょうか？この舟は「川舩(かわひらた)」といい、物を川で運ぶために使われていた舟です。長さは約9m、舟底は浅くなっていて、帆をかけて風の力で進みます。博物館に展示してある川舟は、実物の4分の1に縮小した模型ですが、船体の隣に置いてある舟を漕ぐための櫓(ろ)は実物で、長さが5.1mもあります！

この石炭を乗せた川舟が、明治20(1887)年頃にはなんと約8,000隻もの数で遠賀川を埋め尽くしていたそうです！筑豊の「石炭ラッシュ」で増えすぎた川舟による渋滞などの問題を解決すべく、明治24(1891)年には筑豊で初めて鉄道が開通します。鉄道の開通により川舟船頭は仕事をうばわれて数を減らし、昭和14(1939)年を最後に、遠賀川から川舟の姿は消えてしまったと言われています…

輝かしくも悲しい運命をたどった川舟。あの山本作兵衛さんも絵に描き残しています。春の企画展(4/23～5/19)では作兵衛さんが描いた川舟の絵によって、より詳しく学ぶことができます。

ぜひご覧ください！



▲展示中の川舩(模型)と櫓



博物館の活動



教育普及

たがわゼミナール

今年度は、筑豊炭田遺跡群が国指定史跡に指定されたことに関連して、田川・筑豊地域の国指定史跡をテーマとします。(※詳しくはHPをご覧ください。)

日時：毎月第2土曜日 13:30～15:00
(6～2月に開催、8月を除く)

会場：田川市石炭・歴史博物館 産業ふれあい館研修室

内容：王塚古墳 (国特別史跡：桂川町)
竹原古墳 (国指定史跡：宮若市)
古月横穴 (国指定史跡：鞍手町)
城山横穴群 (国指定史跡：福智町)
鹿毛馬神籠石・大分廃寺跡 (国指定史跡：飯塚市)
三井田川鉱業所伊田坑跡 (国指定史跡：田川市)、など

遠賀川流域の古墳同時公開

遠賀川流域の古墳同時公開の一環として、田川市では夏吉1・21号墳(市指定史跡)の現地解説を行っています。

春●平成31年4月20日(土)

秋●令和元年10月20日(日)※予定

撮影：2019年4月20日▶



「世界の記憶」を活用したユニバーサル・ミュージアム事業

文化庁補助事業「地域と共働した博物館創造活動支援事業」により、「山本作兵衛コレクション」等を活用したユニバーサル・ミュージアムを目指した取り組みとして、下記の事業を実施します。

◆国際交流拠点形成事業

国際交流拠点としての博物館の機能を強化するため、多言語パンフ(繁体字・ドイツ語)の作成や、多言語音声ガイドシステムの構築を行います。また、従前からの台湾交流事業の一環として、相互の出前授業交流を実施します。

◆子ども学芸員育成事業

博物館のユニバーサル化の担い手として、小学生を対象とし「子ども学芸員」を育成します。

夏休みKID'Sイベント

夏休み期間中に4回(予定)、主に小中学生を対象としたワークショップを実施します。▼写真は昨年度の様子



石炭 in キャンドル



人形浄瑠璃体験

調査研究

三井田川鉱業所研究会

博物館付属研究所では、田川市域に所在した筑豊最大級の炭鉱、三井田川鉱業所の歴史について調査研究を行います。

博物館研修講座

市内小中学校教職員を対象とした研修講座を実施します。(8月頃)

山本作兵衛ゼミナール

炭坑記録画書き下し文等の調査研究を、市民の皆さんと協働により行っています。

世界記憶遺産保存事業

近現代紙資料の保存・修復等に関する研究を、京都造形芸術大学と共同で行っています。

文化財保護

史跡保存活用計画の策定

国指定史跡である筑豊炭田遺跡群・三井田川鉱業所伊田坑跡の効果的なマネジメントを図るため、保存活用計画を策定します。

三井田川鉱業所伊田坑跡▶

